

審議会等の会議結果報告書

課所名

生涯学習課文化センター

会議名 令和6年度 第4回諏訪市文化センター運営検討委員会

開催日時 令和6年12月17日(火) 17時30分～19時15分

開催場所 諏訪市文化センター2階 第3集会室

出席者 【出席者】高見 俊樹委員長、石城 正志副委員長、二村 悟委員(リモート)、中島 昌之委員、宮嶋 孝枝委員、木村 修子委員、河西 風花委員、高津 璃子委員、金子 雄二委員、石田 名保子委員、山田 佳子委員、宮坂 寿子委員
細野教育次長、五味課長、小林課長、関沢係長、守屋館長、福田主査
今井みどり教育委員(オブザーバー)

【欠席者】三澤 凜委員、牛越 雅紀委員

【傍聴者】一般 1名、新聞記者 3社

資料 資料①: 第4回諏訪市文化センター運営検討委員会 次第
資料②: 第4回諏訪市文化センター運営検討委員会 説明資料
別紙: グループ表
参考資料: 第3回諏訪市文化センター運営検討委員会 会議録

協議議題(内容)及び会議結果(要旨)

1、開会

2、教育次長あいさつ

3、会議事項

(1)前回のふりかえりについて

<事務局より資料に基づき報告>

<質疑・意見>

○委員長

・広報すわ 12月号に挟み込みをした「生涯学習だより」について、反響やご意見などあるか。

(事務局)

・現時点では事務局にご意見等はいただいていない。

○委員

・これまで発表されたアイデアの中で共通するものをまとめたほうが良いと思うが、そういう考えはあるか。

(事務局)

・委員会として一つの方向性を決めるということではなく、委員の皆様からいただいたご意見やアイデアを参考に、事務局としてリニューアル後のオープンに向けて活用を検討していくということで進めている。

・年度を区切りとしたまとめ(内容の整理)は必要だと考えている。

(2)ワークショップについて テーマ:「ホワイエで開催できるイベントを企画し、実践しよう！」

<事務局より資料に基づき説明>

○全体像

・前回は理想や夢を語っていただいたが、今回は具体的なアイデアを検討していただく。

○タイプ分け

・今回は現実主義者(リアリスト)として現実的なアイデアを出していただきたい。

○今回のテーマ

・テーマは「ホワイエで開催できるイベントを企画し、実践しよう！」で、以下の3つの目的で実施したい。

・1つ目は、これまでワークショップで出していただいたアイデアを参考に、文化財を活用する上で重要となる「できることからやってみる」を実現する。

・2つ目は、リニューアル後の活用として多くのアイデアが出ていた文化センターのホワイエを会場とし、今年度中に開催できるイベントを企画し、実践(施行)していただく。

・3つ目は、企画したイベントを実際に運営していただくことで、リニューアル後の活用を検討する上でのヒントとしていただく。

・具体的にどうやるのか、企画内容の例として記載させていただいた。赤字の部分については、「できることからやってみる」の趣旨の下、今年度中に開催する上で、事務局として指定させていただく条件となる。

・イベント開催の時期については、令和7年2月下旬～3月中旬の土・日・祝日のうち、1日。文化センターの予約状況や委員の皆様の予定を加味して決定する。

・時間は、現在の文化センターの規則内(9:00～21:00)の間に開催する。原則としては、この時間内で準備～撤収までを考えていただく。

・場所は文化センターのホワイエとする。リニューアル後の賑わいスペースとしての活用を検討する上でのイベントとしたいため、会場は原則ホワイエのみとし、ホールは使用しない。

・対象については、前回のWSでもあったとおり、5W1Hの視点で考えていただきたい。

・どんなイベントにするかのコンテンツ内容、その他必要な項目を考えていただく。

・「できることからやってみる」の趣旨であるため、本イベントに使用できる予算は原則ない。ただし、イベントを開催する上で最低限必要な費用も出てくるかと思うので、そこは事務局で検討する。

・運営体制については、イベントを実際に運営して体験していただくことで、リニューアル後の活用のヒントにしていただく目的から、主催は本委員会の皆様をお願いしたい。ただし、当然のことながら、事務局で企画、準備、当日の運営までサポートをさせていただくので、今後相談しながら進めていきたい。

・その他、周知方法やイベント当日までのスケジュールを考えていただく。

○今回のルールとキーワード

・ルールは3点。①前向きな議論をする。②全員が参加する。③発想を転換する。

・キーワードは、前回と同様に4点。①文化センターの歴史的建造物の良さや魅力を引き出すような利活用を考えること。②前回のワークショップを参考にしながら、今回のテーマに沿ってグルーピングの内容や視点を変えて考えること。③5W1Hを意識しながら考えること。④文化センターと周辺施設を関連付けて面的な視点で考えること。

○今回の方法

・3グループに分かれて実施する。各グループでの役割を決める。時間は50分間。

・各グループごとに発表していただく。

・発表後に、意見交換をする時間を設ける。

<質疑・意見>

○委員

・ホワイエの照明は現在あるもので対応するのか。

(事務局)

・文化センターにある別の照明を使用することは可能だが、全体を明るくすることは難しい。

○委員

・ホワイエの音響設備はどうか。

（事務局）

・ホールで使用する音響システムがあるが、マイクの設備が弱いと認識していただきたい。

○委員

・芝生を活用する場合、かなり冷え込むと思うのでストーブなどを使用することは可能か。

（事務局）

・時期的にかなり冷え込むので基本的にはホワイエでの開催を検討いただきたいが、ストーブなどの暖房機器を使用することは可能である。

○委員

・ホワイエでピアノを使用することは可能か。

（事務局）

・現在ホールにあるグランドピアノをホワイエへ移動することが難しいため使用することはできないが、託児室にある電子ピアノを使用することは可能である。

○各グループの発表

<意見交換>

○委員

・A 班と C 班には喫茶や展示など共通するアイデアがあった。

・高校生を主体にするのはとても良いと思うが、色んな世代の人が集まることも必要だと感じた。

○委員

・B 班のダンスバトルについて、ジャッジを観衆にするとあるが、どうしても動きが大きいものが評価されがちになってしまうが、そこはどう考えるのか。

○委員

・審査員をどうするかは未定だが、観客を審査員にすることで、多くの人が見に来てくれると考えている。

○委員

・A 班と C 班に共通して言えるのは、事前の準備が大変だということだが、そこは事務局にお願いしていいものなのか。

（事務局）

・事務局もみなさんの一員として、スケジュール感など相談しながら進めていきたい。

○委員

・現実的に考えると具体的なアイデアが出ていた A 班と C 班のアイデアをミックスさせた企画が良いと思う。

・出演や出展していただける方をどうやって集めるかが課題かと思う。

○委員

・B 班のダンスバトルは、とても斬新なアイデアで自分の考えになかったので良いと思った。

・若い人中心にこの場所に来てもらえたら良い。

○二村委員からのコメント

・今回はみなさんから出た意見をまとめ直すということかを考えながら聞かせていただいた。

・例えば子供の出番が終わると親が帰るのがもったいないという話があり、これは課題だと思う。例えばお神輿であれば子供が常時参加するが、そういうものが何かあるのかを考えていた。

・許可申請の話が出ていたが、文化財になると毀損した場合に法令違反になる可能性などもあるし、タバコも要注意になってくる。

- ・ダンスの場合、床が傷まないのかということも思った。
- ・稼げるイベントの話も出ていて、例えばフリーマーケットなど、大切な観点かと思う。
- ・ダンスの話だと、窓が大きな歴史的な建造物が多いが、例えば名古屋大学の豊田講堂はダンスの練習の場になっていることがある。
- ・冒頭に芝生を利用するために窓を開ける話があったが、寒さを利用したイベントというものもある。例えば、北見市の焼肉イベントは、-10℃とか-20℃の真冬に開催される有名なイベントで、参加者がすごく多い。まちづくりで考えると、弱みを強みに変えるという方法もあるかもしれない。
- ・発表の中で良いと思ったのは階段の利用。例えば結婚式場などの商業施設の階段は上下するためではなく、見せるために作られていて、階段で上がっていく人たちが眺めるのが楽しみの1つとなる。
- ・整理をしてみると、人の問題と物の問題と空間の問題、さらにリスク管理の問題が出てくると思った。
- ・人の問題でいうと、準備する側の人数と役割分担どうするのか、また想定される人数やターゲットの問題も出てくる。高齢の方や障がいをお持ちの方の対応をどうするのかという問題も可能性としてある。
- ・物の問題は、道具の手配で、手配するためには種類や数を把握しなければならない。寒さ対策のストーブの話があったが、ホッカイロを配るというのは実際にあった例。夏場であれば虫よけスプレーを用意しておくなど。ミラーボールを使う場合は、暗くなると管理上の問題も出てくるとも思った。
- ・空間の問題としては、単純にレイアウトをどうするのかということになる。例えば観客と出演者の配置や、バックヤードの用意など。人がどうやって動くかの動線も想定したほうが良い。
- ・イベントの妥当性やリスクなどは双方向で考える必要はあると思うが、基本的にリスク管理については市が対応することかと思う。例えば、喫茶で物を有料で売るとしたら営業許可や食品衛生責任者の資格が必要になることや、傷害・損害保険の問題、また盗難や盗撮などの犯罪の問題、騒音の問題、ごみ処理の問題など。
- ・最後に目的について触れておきたい。現状把握した上での問題提起が目的ということになるが、どうしたら実現できるのか、効果が高い方法は何かということが方法になってくる。市が提示していた目的と概要はその部分の話だったのではないかと聞いていて理解していた。
- ・たくさんのアイデアを聞いてとても面白いと思った。どんどん尖らせてほしい。

＜質疑・意見＞特になし

4、その他

(事務局)

- ・今回のWSでいただいた企画案をもとに、事務局で企画をまとめ、イベントの日程とともに委員のみなさんに別途連絡させていただく。
- ・イベントの開催にあたっては、主催を本委員会とさせていただいているが、イベントの準備等にかかる打ち合わせが今後必要になるかと思うので、事務局でサポートさせていただく。
- ・詳細については、別途通知させていただく。

5、閉会